

入中3年人権だよ

徳島市 八万中学校
3年生 第20号
2021年12月13日
編集・文 吉成正士

3年生学年全体人権学習(12月1日) 第1部

12月1日、これまでの人権学習の総仕上げとして、学年全体での人権を開催しました。

1. 結婚差別、就職差別と学習してきましたが、どんな思いで学習してきましたか。
2. これまでの人権学習は、このあとどんな場面で生かされるでしょうか。あなたはどんなふうに生かしていきますか。
3. 人権学習は誰のためにしているのでしょうか。みなさんにとって、人権学習とは何ですか。
4. 周りの誰かに、人権学習の学びを生かしたメッセージを贈りましょう。

これらの話し合いの中で、「人の為と書いて「偽」となる。人の為は本当に「偽」なのか？」といった問題提起や、先生方からの思いのこもったメッセージもありました。学びの多い時間だったと思います。

その感想を4部にわたって紹介し、3年生最後の人権だよりにしたいと思います。それぞれの中に秘めた思いを、この機会に感じとってみてください。



悔しさをバネに

■今日の人権学習では、これから今までの学習をどう生かしていくかをすごく考えさせられました。僕も集会で発表したように、両親に部落差別は間違っているということを言えませんでした。それが本当に悔しくて、今まで人権学習をして差別が悪いことだとは分かっているけど、実際に声に出して言うことは、とても勇気のいることだと思いました。次に同じようなことがあっても、自分は間違っていることを伝えることができるのか、すごく不安です。でも、そうになったときは、以前言えなくて悔しかったという思いや、今まで学習したことを思い出して、一歩前に進めば良いと思います。そうすれば、今まで人権学習をしてきて良かったと思うだろうし、なぜ人権学習をしてきたのかを理解することができると思うからです。

1組NY

私にも同じような経験があります。それは、高校時代、大学時代、そして教員になってからもずっと続けました。

小さい子どものなかには、気に入らないことがあったとき、それをきちんと伝えられずに、泣いたり暴れたりすることがあります。みなさんにもそんな経験ありませんか？それは、何が気に入らないかを、「きちんと伝える言葉」が、まだ身についていないからです。

みなさんも、かつての私も一緒です。初めから「きちんと伝える言葉」が身についてる人なんていません。少しずつ身につけていくのです。必ず身につけられます。必要なことは、それが大切なことだと思い続けることです。



言わないと伝わらない

■今日の人権学習を通して、今まで部落差別は自分に関係ないことだと思っていたけれど、身近にあるものだと改めて感じました。これまでしてきた人権学習は、日常生活で家族や友達が間違ったことを言ったときに注意したりするところに生かしていけると思いました。

先生たちが自分の経験してきたことを話してくれて、自分は、人は言わないと伝わらないこともあるし、人に言われないと自分を変えていけないこともあると思うので、これからは今まで学習してきたことを生かして、次のステージでも頑張っていけるようにしていきたいです。

2組OK

先生方が大切な話をしてくださいました。なかには、いつも接している先生もいれば、集会でしか声を聞かない先生もいたと思います。それでも、みなさんと同じ「3年生団」という同じ船に乗る仲間です。どうして先生方が人権学習に取り組むのか、その根っこがどこにあるのかを知れば、みなさんの取り組む意識も変わるのではないかと思います。そういう意味で言えば、もっと早くにこんな機会が持てていれば、と思わずにいらませんでした。コロナ禍でどうしようもなかったことなのですが。

「自分には苦言をくれる人がいるだろうか…」と、考えたことがある人もいます。私は高校を卒業後、1年間浪人生活をしていました。大学受験に失敗したからです。そのとき自分は、「世界で一番不幸」だと思っていたのだと思います。あるとき、大学生になっていた同級生の女の子に、「自分だけが不幸なわけ

じゃない！」と、一喝されたことがありました。ガーンと頭を金づちで殴られたような気分でした。でも、言われてみればその通りです。どこか思いあがって、自分のことしか見えなくなっていたのだと思います。そんな友人に、今も感謝をしています。いつまでも苦言がもらえるような、そんな謙虚な自分であり続けたいと思います。

「情け」は…簡単に言ったら「幸せ」でもある

■発表することができてよかったです!!! 発表したけど、「情けは人の為ならず」は、ニセ(偽)なのかということを吉成先生が言っていたけど、本当にニセなのかと思いました。私は困っている人を見ると、自分ができることなら解決することができるし、できなくても一緒に考えることができるから、「情け」は何だろう…言葉で表すには難しいものだったし、うーん、簡単に言ったら「幸せ」でもあるのじゃないかなと思いました。

人権学習って大切だなと改めて思ったけど、それに加えて、言葉で表すのは難しいなと思いました。発表していた子の意見は、とっても分かりやすくて、なるほど!!という意見も多くありました。これからは1回じゃなくて、2回発表できたらいいなと思ったし、まとめられた言葉で発表したいです。

それに、先生たちが差別されていた、少ししていたというのも初めて聞いてビックリしました。天羽先生が、わがまま?なのも、先生ってふんわりしてるイメージがあったので、「えっ!?!」ってなりました。もう3年生全体で集まって人権学習をすることはないけど、私はこれからも人権学習をしていきたいなと思いました。 3組FU

いろんな意見や考えがあることが面白いですね。身近な友達からの言葉は、なおいっそう生きて胸に響いてきます。それに、まとめられてないからこそいいんじゃないか、とも私は思います。よくまとまった言葉は、確かに自分の中にスッと入ってきます。でも、まとまってないからこそ、「どういうことだろう?」と、よく考えるし、いくつもの発表を聞きながら、「うーん」と、時間をかけて少しずつ分かりはじめます。ぼんやりしていた景色の輪郭がはっきりしていくようなものです。パズルのピースが一つずつ埋まり全体がはっきりしていくようなものです。その、「時間をかける」ことが大切なのだと思います。だから、まとまってなくていいんです。むしろ、まとまってない方がいいのかもしれない。

「人の為」…本当は自分の為でもある

■今まで人権学習は、誰のためにしているかや、人権学習をどんなふうにならしていきたいかなどは考えたことがありませんでした。人権学習は、「差別はいけないこと」だけで、誰のためにしているかや、どんなふうにならしていきたいかを改めて考える機会となりました。

人権学習は、人の為と思っていたけど、いろんな人の意見を聞いて、自分の為でもあるんだなと思いました。そして吉成先生が言っていた、「人の為と書いて偽」というのを聞いて、はっとしました。人の為、人の為と言っているうちは違うんだと思いました。人の為と言いながら、本

当は自分の為でもあるんだと気づかされました。今まで、自分が思っていることだけしか分からないことがあったけど、それだけが正しいのではなく、間違いを認められるということが大切だと分かりました。これからは、今まで人権学習で習ってきたことを生かし、よりよいものにしていきます。 4組

学ぶことの楽しさは、この「はっ」とするところにあります。気づくことの喜びです。

「人の為」という「言葉つながり」で言えば、「受ける心」。「受」の字の真ん中に「心」を書いてみてください。心を真ん中で受けとめて、「愛」。相手の心を、自分はちゃんと真ん中で受けとめられているのか。そのことをいつも自問自答する自分でありたいです。



学習することは自分にとって最も大切なこと

■今日受けた人権学習で、私の中にある人権学習に対する思いが変わりました。今までは本当に差別をされている人たちへの同情や、自分はこうしていきたいなど、どこか遠くのことで、他人事として捉えていました。でも実際は、差別や人権問題は身近にあったり、この先必ずぶつかるものなので、学習するということは、自分にとって最も大切なことなんじゃないかと思い始めてきました。

吉成先生が授業の中で、人の為にすることは偽のことと言っていましたが、私はそうでもないと思います。自分の為でも他の人の為でも、何かを施したり行動したりすることは、決して誰にとってもマイナスにはならないと思うからです。私が積極的でないからそう思っているだけかもしれませんが、積極的に人を助けたり、人を笑顔にさせている人を見ると、偽のことをしているようには見えません。

私はこれからも、高校生になっても、人権について学習することをやめずに、この先に降りかかってくるであろう様々な問題と向き合っていきたいです。そして、今までに学んできた人権、差別のことを忘れずに、「差別をしない」「もし差別意識がある人と対立してしまったら、その差別は間違っているということを伝える」ことをしていきたいです。まずは自分から、そして周りの人の意識も変えられるようにしていきたいです。 6組HH

そう、この先に降りかかってくるさまざまな問題と向き合っていってください。まずは、世の中の様々な問題に関心を持つこと。無関心にならないこと。世の中にはいろんな社会問題があります。そのことに目を背けるのではなく、関心を持てる人であってほしいと思います。何しろ、自分の問題なのですから。